

2025 年 4 月 4 日

各位

(公財)日本水泳連盟 水球委員会

水球委員長 峰岸克行

2025 年度水球競技規則ガイドラインの発行について

2025 年度の水球競技規則ガイドラインを以下の通り発行します。

ガイドライン(A) 全競技会に適用

ガイドライン(B) 限定した競技会に適用 (追加要項に記載する)

以上

担当：水球委員会 競技本部 潮崎正一

E-Mail Shoichi_shiosaki@ric.hi-ho.ne.jp

2025 年 4 月 1 日

2025 年度水球競技規則 ガイドライン (A) 判定・運用の変更

条 項	変 更 内 容
2.1 チーム構成員	・試合開始時を除き、ゴールキーパー(GK)を投入しなくてもよい。 →試合開始時を除き、フィールドプレイヤー(FP)7名でのプレイが可能。
2.6 選手交代	・退水時再入水エリアでのハイタッチは不要。 ・競技者が交代のために、Flying Substitution Area または再入水エリアから出た際、(交代者がいなかった場合を含めて、)交代せずにフィールドに戻ることを認める。
2.8 交代が認められる場合	・ペナルティーファウル(PF)判定とペナルティースロー(PT)の間は、怪我・出血あるいはタイムアウト時を除き、交代は認められない。
5.1 タイムアウト	・PF 判定時のタイムアウト請求を認める。
5.2 タイムアウト後の再開	・PF 判定時以外は、センターラインから再開する。 →コーナースロー時もセンターから再開となる。 ・PF 判定時は、PT から再開する。
5.5 タイムアウト後の再開	・再開時、競技者はフィールド内のどこにでも位置することができるが、コーナースローとペナルティースローの規則に従う。
7.2 得点	・6 m線外で行われるフリースロー(得点后、タイムアウト後、ニュートラルスロー後、審判がボールを取り上げた後、ボールがサイドラインを越えた後の再開時を除く。前述の場合は、インプレイの後のシュートが認められる。)からの直接シュートを認める。 →ファウルが6 m線内、ボールが6 m線外の場合のフリースローからの直接シュートが認められる。 ※同じ選手が6 m線内で反則を受け、6 m線外に出てシュートを打つことは不可とする。 →「ファウルもボールも6 m線内の時、インプレイにして6 m線外に出ればシュートできる」という条項は不採用となっている。

2025 年 4 月 1 日

8.12 ボールの保有	・以下のケースはショットクロックを 20 秒にリセットする。 ①ペナルティースロー後にボールの保有権が変わらない場合 ②コーナースロー時および防御側競技者が意図的にサイドラインからボールを出した場合 ③防御側 GK がシュートをブロックしてサイドラインからボールが出た場合
8.13 時間の空費	・「時間の空費」の文言は削除し、「チームが意図的にボール保有を放棄した場合」に置き換える。 →与えられたボール保有時間は自由に使ってよい。(今まで反則になっていた行為も認められる) →ボール保有を放棄すること(ボールを捨てる行為など)はオーディナリーファウルとする。
9.2 退水者の退水方法	・退水者(ゲームエクスクルージョンを含む)は、攻撃を妨害しないよう、直ちにフィールドから出る。 ・交代時のハイタッチは不要。
9.4 離水	・交代者が入水した後、病気・怪我・審判が認めた場合を除き、プレイ中に自ら出ること、階段やプールサイドに立つことは不行跡とみなす。 →退水者もそうでない競技者も同様にした。
9.8 潜り込み	・防御側競技者が水中に身体を沈めて相手の位置取りを妨害することはエクスクルージョンファウルとなる。
9.16 9.16.1 9.16.2 不正入水	・すべて削除し、不正入水、イリーガルプレイヤーへの判定を、ペナルティーフアウルに統一する。
9.18 ペナルティースロー時の GK	・ペナルティースロー時に審判がスローを指示する笛を吹く前に、GKが前方に動きゴールインしなかった場合、9.18に従ってそのGKは20秒間のエクスクルージョンとなり、ペナルティースローを再度行う。 →FPの侵害行為は、ゲームエクスクルージョンであることに注意。

2025 年 4 月 1 日

10.8 イリーガルプレイヤー	・ゲームエクスクルージョンを廃し、ペナルティースローのみとする。 ・ペナルティースローはこの反則を犯した競技者を退水させた後に行われる。
10.12 試合時間残り 1 分以内のペナルティーファウル	・監督はペナルティースローかボールの保有のどちらを選択するかただちに示す必要がある。 ・保有を選択した場合、ショットクロックは30秒にリセットされる。 ・再開はタイムアウトの再開と同様の手順で行う。
10.13 不正入水 (追記)	・退水者あるいはその交代者が規則にのっとり入水した場合、パーソナルファウルを 1 つ科され、記録用紙にはペナルティーファウルが記載される。 ・退水時間が残っている間にこの反則がなされた場合、反則を犯した競技者は、ペナルティースローが行われる前にフィールドを出る必要がある。 ・当該競技者或いは交代者は、退水時間の満了またはボールの保有権が移行した際、入水することができるが、暴力行為の場合は、それに応じた退水時間の満了時にのみ入水できる。
15.6 ピリオド終了時のペナルティースロー	・ピリオド終了のブザーと同時にペナルティーファウルが判定された場合、ペナルティースローを行う競技者と防御側GK以外が、各々のFlying Substitution Areaに移動してからペナルティースローを行う。
16.3.7 出場停止となった選手がいる場合	・出場停止となった競技者がいる場合、当該大会の規則によって交代できる競技者がいる場合は、その試合に13名の選手を登録することができる。
17.3 怪我人が出た場合の処置	・出血以外の怪我・病気等が発生した場合、審判はその裁量で試合を一時的に止めて怪我・病気をした競技者をすぐに交代させることができる。 →出血と怪我・病気を同等に扱う。
17.5 怪我人が交代した場合の処置	・怪我人が交代した場合に、当該試合に戻れないという条項を削除する。 →治療が終わった後、競技に戻るができる。
付則 5 オフィシャル 7.8 ゴールスローかコーナースロー	・一方の審判がゴールスローを判定し、もう一方の審判がコーナースローを判定した場合、コーナース

2025 年 4 月 1 日

	ローが優先される。 →VAR がない場合。
20.5.7.10 両退水の場合のショットクロック	前述済み
付則 6.2.2PSO プロトコル	・シューターはフィールド内の 6 m 線外に位置し、ロープにもたれかからない。 ・交代GKは、PSOの最初からベンチサイドと反対側のフィールド外かつ 6 m 線外で待機できる。
付則 6.2.8PSO 時の GK 退水 (追記)	・ PSOにおいて、GKが正しいポジションに着かず、一回の警告後に再度同じ行為をおこなった場合、通常のエクスクルージョンとし、次のペナルティースローには戻れる。 →レギュラータイムと同様にする。 →GKが退水となった場合、シューターの5名の中から1名がゴールを守る(交代GKは不可)。
付則 6.2.9PSO 時の GK 退水(追記)	・ 前述の通り
付則 6.2.10PSO 中の GK のゲームエクスクルージョン(追記)	・ GKがPSO中にゲームエクスクルージョンとなった場合、そのシュートについてはシューター5名の中から1名がGKの特権なしにゴールを守る。次のシュートでは別の競技者か交代GKへの交代が可能。
試合の勝ち点と順位付け方法 1.2.1.2 および 1.2.2.2 3 チーム以上が 同じ勝ち点で並んだ場合	・ 「この方法で順位決めをしていく過程で、同順位のチームが 2 チームになった時点で、上記方法 (1.2.1.1または1.2.2.1) にのっとり残りの 2 チームの順位を決定する。」の文言を削除。 → 2 チームの直接対決ではなく、勝ち点が並んだ当該チーム間の比較で順位付けする。
※VARに関するルールについては、適用する大会で詳細を説明する。	

2025 年 4 月 1 日

2025 年度水球競技規則 ガイドライン (B) 設備の変更

条 項	変 更 内 容
1.2 フィールドの長さ	・ ゴールライン間の距離は 25m とする。これを男女競技ともに適用する。
2.1 選手(追加、以下繰り下げ)	・ 各チームは最大 14 名構成とし、その内最大 12 名をフィールドプレイヤー(FP)、最大 2 名をゴールキーパー(GK)とする。 ・ チームはそのスタートリストに最低 1 名の GK を記載する必要がある。チームに GK が 1 名しかいない場合にも、FP の最大数は 12 名である。GK はその特権を表す赤い帽子を着用する。 ・ チームはフィールド内に 7 名で試合を開始し、その内 1 名は GK とする。試合開始以降は、GK を参加させる義務はなく、7 名の FP を参加させることができる。 ・ 競技中、交代 FP がいなくなってしまった場合、正 GK もしくは控え GK が FP として参加できる。同様に、交代 GK がいなくなってしまった場合、FP が赤い帽子をかぶることで GK として参加できる。
4.1.1 保有時間	・ ボールの保有時間は最大 28 秒とする。 <i>注)関連する項目すべて変更</i>
8 オーディナリファウル 8.12	・ 保有時間の記述のうち、30 秒を 28 秒に、20 秒を 18 秒に変更する。 <i>注)関連する項目すべて変更</i>
付則 3.2.3 ゴールキーパー (国内限定)	・ 2 名の GK の帽子番号は 1 番と 13 番とする。 ・ FP が交代して GK になる必要がある場合、同じ番号の赤の帽子を着用するか、審判に申請の上で赤の 13 番を着用する。 ・ GK が交代して FP になる必要がある場合、同じ番号の FP の帽子を着用するか、審判に申請の上で他の番号の FP の帽子を着用する。